

工 事 設 計 書

所 属 部 課 名		建設部 下水道維持課							
部長	審議監	審議監	課長	補佐	補佐	主査		設計者	設計審査
工 事 名 称		人孔蓋交換工事(R7-2)							
工 事 場 所		松戸市小金原九丁目地内							
事 業 年 度		令和 7 年度							
工 事 価 格		円							
工 事 費 計		円							

設 計 説 明	人孔蓋交換工…40箇所
------------------	-------------

単価適用日 2025年6月1日

本 工 事 内 訳 書

下水道工事(2)
共：一般交通影響有り(2)-2
現：一般交通影響有り(2)-2

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	管路施設工							
		人孔蓋交換工	開削	式	1			第 1 号内訳書参照
		附帯工		式	1			第 2 号内訳書参照
		仮設費		式	1			第 3 号内訳書参照
	直接工事費計							
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計						
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
	工事原価							

本 工 事 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		一般管理費等		式	1			
	工事価格							
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
工事費計								

第 1 号 内訳書 人孔蓋交換工

開削

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径 6 0 0 mm T-1 4 ダクタイル鋳鉄製	組	40			
マンホール鉄蓋用転落防止装置	φ 6 0 0 mm ロック付き	個	6			
マンホール蓋交換工	調整コンクリートブロック据付工	組	14			第 1 号単価表参照
マンホール蓋交換工		組	26			第 2 号単価表参照
調整リング		個	14			2025/05/01
調整金具		組	40			2025/05/01
無収縮モルタル	25kg 入	袋	40			2025/05/01
Co 廃材運搬処分工		m3	1			第 3 号単価表参照
計						

第 2 号内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	As舗装	m	226			第 4 号単価表参照
舗装切断排水処分工		m3	0.4			第 5 号単価表参照
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	68			第 6 号単価表参照
As廃材運搬処分工	小規模土工	m3	3			第 7 号単価表参照
床掘り		m3	3			第 8 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工		m3	3			第 9 号単価表参照
不陸整正	RM-30 t=30	m2	33			第 10 号単価表参照
上層路盤工	RM-30 t=100	m2	35			第 11 号単価表参照
舗装工	1 層	m2	68			第 12 号単価表参照
路面表示	常用	式	1			2025/04/01
計						

第 3 号 内訳書 仮設費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人日	30			第 13 号単価表参照
計						

第 1 号 単価表

マンホール蓋交換工

調整コンクリートブロック据付工

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール蓋設置工	調整コンクリートブロック据付工	組	1			第 14 号単価表参照
マンホール蓋撤去工	トラッククレーン・油圧伸縮ジャブ型 4.9t吊	箇所	1			第 15 号単価表参照
計	1 組 当り					

第 2 号 単価表

マンホール蓋交換工

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール蓋設置工		組	1			第 16 号単価表参照
マンホール蓋撤去工	トラッククレーン・油圧伸縮シブ型 4.9t吊	箇所	1			第 17 号単価表参照
計	1 組 当り					

第 3 号 単価表

Co廃材運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋CO処分費	東葛飾	t	2.5			
殻運搬		m3	1			第 18 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 4 号 単価表

舗装版切断

As舗装

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (プレート)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 4 号 単価表		舗装版切断	As舗装	1 m 当り	2 頁
SCB430510					
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02	アスファルト舗装版厚 = 1	15cm以下
J05	費用の内訳 = 1	全ての費用			

第 5 号 単価表

舗装切断排水処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬		m3	1			第 19 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1,130			
計	1 m3 当り					

第 6 号 単価表 舗装版破碎積込（小規模土工）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720
J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 7 号 単価表

As廃材運搬処分工

小規模土工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
A S 廃材処分費	東葛飾	t	2.35			
殻運搬		m3	1			第 20 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 8 号 単価表

床掘り

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1
J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 9 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤廃材処分費	東葛飾	t	1.8			
土砂等運搬		m3	1			第 21 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 10 号 単価表

不陸整正

RM-30 t=30

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ〔土工用・排ガス対策型(第2次)〕	ブレード幅3. 1 m	%	K1			
ロードローラ〔マカダム・排ガス対策型(第2次)〕	運転質量10 t 締固め幅2. 1 m	%	K2			
タイヤローラ〔普通型〕	運転質量8～20 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 10 号 単価表

不陸整正

RM-30 t=30

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生粒度調整碎石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 2

J03 補足材料 = 8

有り

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 補足材料平均厚さ = 9

J04 費用の内訳 = 1

29mm以上34mm未満

全ての費用

第 11 号 単価表

上層路盤工

RM-30 t=100

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ〔土工用・排ガス対策型(第2次)〕	ブレード幅3.1m	%	K1			
ロードローラ〔マカダム・排ガス対策型(第2次)〕	運転質量10t 締固め幅2.1m	%	K2			
タイヤローラ〔普通型〕	運転質量8～20t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 11 号 単価表

上層路盤工

RM-30 t=100

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生粒度調整碎石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410040

J01 材料 = 7

J07 施工区分 = 1

再生粒度調整碎石 RM-30
1層施工

J06 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 100

J09 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 12 号 単価表

舗装工

1 層

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量 0.5 ～ 0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量 40 ～ 60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	%	Z2			

第 12 号 単価表

舗装工

1 層

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1.4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（13）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 13 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 14 号 単価表

マンホール蓋設置工

調整コンクリートブロック据付工

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 組 当り					

SDGD10810

J01 作業区分 = 1

調整コンクリートブロックを使用する

J02 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

(施設維持 P142)

第 15 号 単価表

マンホール蓋撤去工

トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

D7975

[蓋受枠選択]=蓋受枠までの撤去を行わない

第 16 号 単価表

マンホール蓋設置工

1 組 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4. 9 t 吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 組 当り					

SDGD10810

J01 作業区分 = 2

調整コンクリートブロックを使用しない

J02 トラッククレーン賃料補正 = 1

標準 (1.0)

(施設維持 P142)

第 17 号 単価表

マンホール蓋撤去工

トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン賃料	トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日				
諸雑費		式	1			
計	1 箇所 当り					

D7975

[蓋受枠選択]=蓋受枠までの撤去を行う

第 18 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 2

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

コンクリート (鉄筋) 構造物とりこわし

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 1

J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 4 8.0km以下

機械積込

第 19 号 単価表 運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 20 号 単価表 殻運搬 1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	1 0 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010
J01 殻発生作業 = 3
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 3
J08 運搬距離 (km) (DID区間有) = 6 19.5km以下

機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)

第 21 号 単価表 土砂等運搬 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 2 小規模
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 10 9.0km以下

J02 積込機種・規格 = 5
J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
有り

設計基本情報

・単価世代 2025年6月1日
・諸経費工種 下水道工事(2)

・時間的制約状況 制約を受ける ・月単位<現場閉所> ・交通誘導警備員は時間的制約対象外
・施工地域補正 共通仮設費：一般交通影響有り(2)-2 現場管理費：一般交通影響有り(2)-2

一 式 当 た り 内 訳 書

[illegible]

人孔蓋交換工事条件明示及び特記仕様書

工事名称	人孔蓋交換工事(R7-2)
適 用	本工事は、老朽化した既設人孔蓋を対象に、蝶版ロックタイプに交換するとともに、人孔蓋の高さ調整を行うものです。
一般事項	1. 本書及び図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事標準仕様書に準じるものとする。 2. 施工計画は、施工者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する工事目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画しなければならない。また、設計内容を熟知し、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。 3. 施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事施工管理基準により行うものとする。 4. 工事着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかをチェックし、その結果を監督職員に報告しなければならない。 5. 工事着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等への周知を徹底し、通行人を含め、第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。 6. 工事完了後、污水管への雨水侵入を防ぐことを目的として、マンホール蓋の鍵穴及び穴開き部に防水テープを張ること。
週休 2 日制適用工事（閉所場所による週休 2 日工事）	1. 本工事は、週休 2 日制適用工事である。 2. 受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）達成相当の経費を補正している。 3. 週休 2 日制の実施にあたっては「松戸市建設工事週休 2 日制適用工事実施要領（令和 7 年 4 月施行）」に基づき行うこと。 4. 受注者は、現場着手前に対象期間について監督職員と協議し、現場閉所予定日がわかる工程表等を監督職員に提出すること。 5. 受注者は毎月の工事履行報告書を提出すること。
熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事	1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。 2. 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。 3. 工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。
安全・交通規制関係	1. 施工中の交通誘導員は、1 日 2 名以上の配置を原則とするが、工種・施工形態及び交通量等を考慮し増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。 2. 交通規制は、周辺の工事との調整を図り、適切に行わなければならない。 3. 施工に関しては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守すること。
残土・産業廃棄物関係	1. 別添「建設副産物に関する特記仕様書」に基づく。

公害・対策関係	1. 工事の使用機械は、低騒音及び排出ガス対策型機械を使用し、出来る限り振動等の発生を抑制する方法をとり、第三者に不快感を与えないように努力すること。
施工関係	1. 道路中心線の勾配を考慮し、できるだけ変化点を少なくするなど道路としての快適性が図れるよう計画すること。 2. その他詳細事項は「アスファルト舗装要綱」を参照し実施すること。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者(元請業者)は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書(厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式)を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム(集荷目録制)」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票(複写式伝票)を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、(m³) は、 市 町地先、
片道運搬距離 kmの に搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材（ 3m³）は、柏市高田 1116-32 地先、片道運搬距離 8.9 kmの㈱丸昭建材に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

- 1) アスファルト塊（ 3m³）は、我孫子市日秀字堀込 230-4 地先、片道運搬距離 17.6 kmの東京利根開発㈱に運搬し、処理するものとする。
- 2) コンクリート塊（ 1m³）は、松戸市松飛台 286-17 地先、片道運搬距離 6.3 kmの石建商事㈱に運搬し、処理するものとする。
- 3) 建設発生木材（ m³）は、 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。
- 4) 建設汚泥（ 0.4m³）は、八千代市吉橋字内野 1075-9 地先、片道運搬距離 21.6 kmの千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。
- 5) 建設混合廃棄物（ m³）は、 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

人孔蓋交換工事 (R7-2)



工事概要
工事箇所数 汚水T-14 40箇所

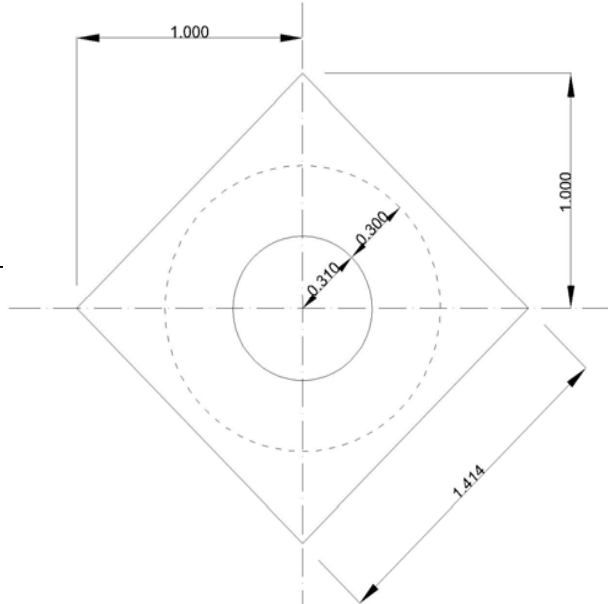




人孔番号 一覧
小金原九丁目地内

番号	汚水/雨水	地盤高	管底高	人孔深さ	鉄蓋種別	梯子	舗装種類		備考
1	汚水	19.650	18.112	1.538	T-14		車道	一般市道	
2	汚水	24.780	23.322	1.458	T-14		車道	一般市道	
3	汚水	27.430	25.957	1.473	T-14		車道	一般市道	
4	汚水	27.280	25.948	1.332	T-14		車道	一般市道	
5	汚水	26.650	25.318	1.332	T-14		車道	一般市道	
6	汚水	26.020	24.700	1.320	T-14		車道	一般市道	
7	汚水	24.610	23.267	1.343	T-14		車道	一般市道	
8	汚水	22.250	20.834	1.416	T-14		車道	一般市道	
9	汚水	19.950	18.519	1.431	T-14		車道	一般市道	
10	汚水	19.640	18.351	1.289	T-14		車道	一般市道	
11	汚水	20.950	19.627	1.323	T-14		車道	一般市道	
12	汚水	21.940	20.590	1.350	T-14		車道	一般市道	
13	汚水	22.930	21.533	1.397	T-14		車道	一般市道	
14	汚水	21.530	20.072	1.458	T-14		車道	一般市道	
15	汚水	19.890	18.561	1.329	T-14		車道	一般市道	
16	汚水	19.640	18.343	1.297	T-14		車道	一般市道	
17	汚水	19.890	18.490	1.400	T-14		車道	一般市道	
18	汚水	23.460	21.832	1.628	T-14		車道	一般市道	
19	汚水	26.690	25.182	1.508	T-14		車道	一般市道	
20	汚水	29.690	28.412	1.278	T-14		車道	一般市道	
21	汚水	22.980	21.712	1.268	T-14		車道	一般市道	
22	汚水	20.480	19.192	1.288	T-14		車道	一般市道	
23	汚水	26.418	24.958	1.460	T-14		車道	一般市道	
24	汚水	28.210	26.300	1.910	T-14		車道	一般市道	
25	汚水	29.700	27.666	2.034	T-14	有り	車道	一般市道	
26	汚水	29.750	27.914	1.836	T-14		車道	一般市道	
27	汚水	29.830	28.152	1.678	T-14		車道	一般市道	
28	汚水	29.660	28.152	1.508	T-14		車道	一般市道	
29	汚水	29.310	26.519	2.791	T-14	有り	車道	一般市道	
30	汚水	29.480	26.769	2.711	T-14	有り	車道	一般市道	
31	汚水	29.590	26.961	2.629	T-14	有り	車道	一般市道	
32	汚水	29.560	27.153	2.407	T-14	有り	車道	一般市道	
33	汚水	29.490	27.964	1.526	T-14		車道	一般市道	
34	汚水	29.410	28.132	1.278	T-14		車道	一般市道	
35	汚水	29.680	27.994	1.686	T-14		車道	一般市道	
36	汚水	29.660	28.178	1.482	T-14		車道	一般市道	
37	汚水	29.640	28.362	1.278	T-14		車道	一般市道	
38	汚水	29.640	27.408	2.232	T-14	有り	車道	一般市道	
39	汚水	29.610	28.082	1.528	T-14		車道	一般市道	
40	汚水	29.570	28.292	1.278	T-14		車道	一般市道	

		開削	非開削	小計
舗装種類	t=40	0	0	0
	t=50(歩)	0	0	0
	t=50	40	0	40
	t=100	0	0	0
	t=150	0	0	0
	t=150(Co	0	0	0
鉄蓋種類	T-14	40	0	40
	T-25	0	0	0
	その他	0	0	0
梯子		6	0	6

図	項 目	計 算 式	数 量
車道 	マンホール面積	$0.31 \times 0.31 \times \pi$	$=$ 0.302 m ²
	舗装版切断工	$1.414 \times 4本$	$=$ 5.656 m
	舗装版切断排水処理工		
	舗装厚 = 10 cm以下	$5.656 \times 0.0017\text{m}^3/\text{m}$	$=$ 0.01 m ³
	舗装厚 = 20 cm以下	$5.656 \times 0.0027\text{m}^3/\text{m}$	$=$ 0.02 m ³
	舗装版掘削積込み	$1.414 \times 1.414 - 0.302$	$=$ 1.697 m ²
	舗装厚 = 5 cm	1.697×0.05	$=$ 0.085 m ³
	舗装厚 = 10 cm	1.697×0.1	$=$ 0.170 m ³
	舗装厚 = 15 cm	1.697×0.15	$=$ 0.255 m ³
	路盤掘削	$0.61^2 \times \pi - 0.31^2 \times \pi$	$=$ 0.867 m ²
	路盤厚 = 10 cm	0.867×0.1	$=$ 0.087 m ³
	路盤厚 = 5 cm	0.867×0.05	$=$ 0.043 m ³
	路盤厚 = 0 cm	0.867×0	$=$ 0.000 m ³

数量表

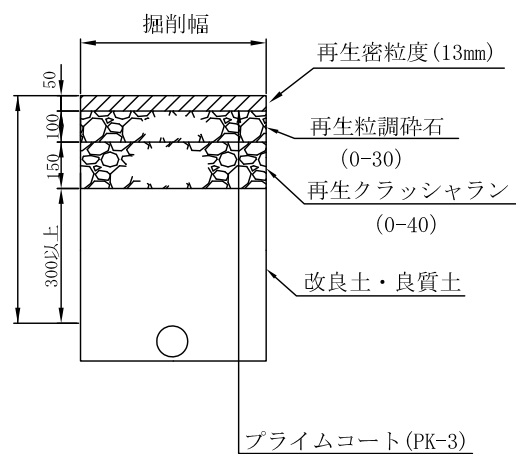
		箇所数	箇所	舗装版切断 (m)	舗切断排水 (m3)	舗装版掘削 (m ²) (m ³)		路盤掘削 (m ²) (m ³)		路盤工 (m ²)	不陸整正 (m ²)	舗装工 (m ²)
開削	t=5cm	40	ヶ所	226.24	0.40	67.88	3.40	34.68	3.48	34.68	33.20	67.88
	t=10cm	0	ヶ所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	t=15cm	0	ヶ所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		40	ヶ所	226.24	0.40	67.88	3.40	34.68	3.48	34.68	33.20	67.88

数量

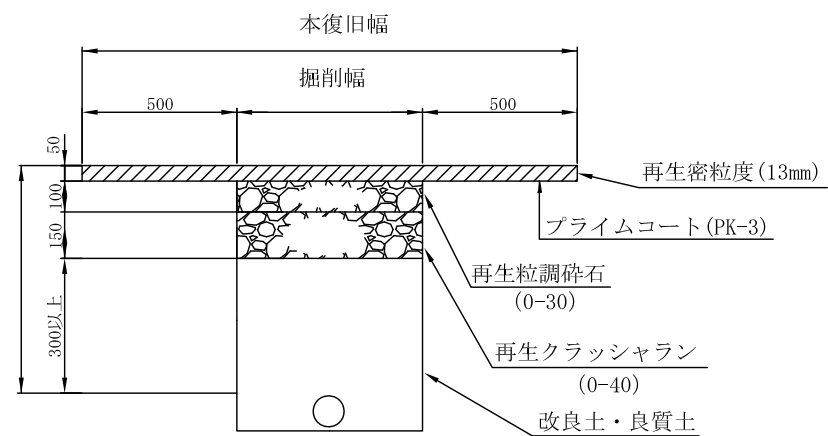
工種	名称	規格	数量	単位
人孔蓋交換工(開削)				
	マンホール鉄蓋	T-25	0	枚
	〃	T-14	40	枚
	転落防止装置		6	個
	蓋設置工	リングあり	14	箇所
	〃	リングなし	26	箇所
	調整リング		14	個
	調整金具		40	セット
	無収縮モルタル		40	袋
	Co処分		1	m ³
附帯工				
	土工・舗装版切断		226	m
	切断排水運搬処分工		0.4	m ³
	舗装版破碎積込	As	68	m ²
	土工・As処分		3	m ³
	床掘り	小規模土工	3	m ³
	土工・路盤処分		3	m ³
	土砂運搬		0	m ³
	埋戻し		0	m ³
	不陸整正工(補足材あり)	RM-30	33	m ²
	〃	RC-40	0	m ²
	路盤工	t=100 RM-30	35	m ²
	〃	t=50 RM-30	0	m ²
	〃	歩道	0	m ²
	〃	歩道(切り下げ)	0	m ²
	アスファルト舗装工	1層	68	m ²
	〃	2層	0	m ²
		3層	0	m ²
	〃	歩道(開粒)	0	m ²
	〃	歩道(切り下げ)	0	m ²
	路面標示	常用	1	式
安全費				
	交通誘導員	昼間	30	人

松戸市一般

仮復旧



本復旧



＊ 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

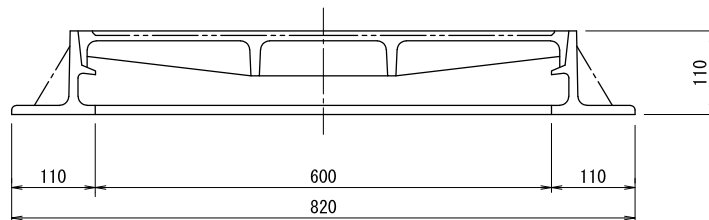
注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

(横断占用適用図)

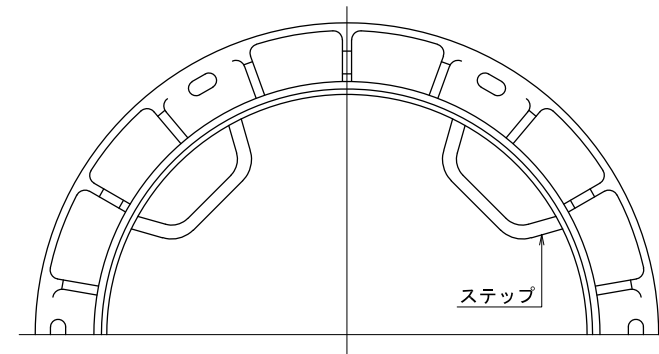
紋章平面図



断面図



ステップ取付図（参考）



（特記事項）

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

ロック付転落防止用梯子図（参考）

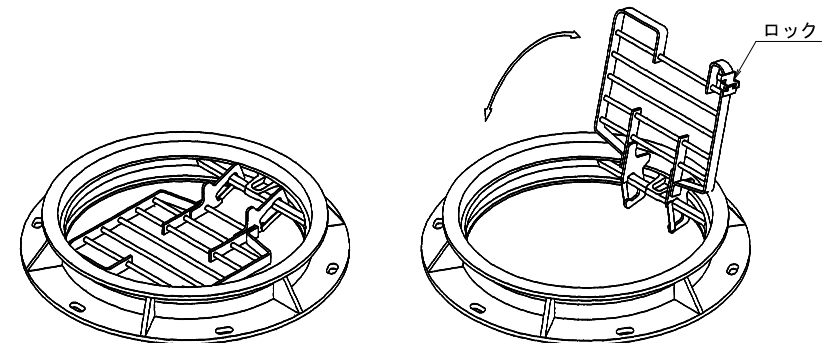


図 面 縮 尺	マンホール鉄蓋詳細図		
	1 : 6	図 番	19
	松戸市 建設部		

工 程 表 (参 考 资 料)

[illegible]